

新・奥の細道

米沢北ルート

③

眺山とダリア園を巡るみち

Nagameyama-to-dariaen-o-tadoru-miti



山形県

周辺のアクセスガイド

総合コロー「希望が丘」入口までは、
今泉駅（JR米坂線、フラワー長井線）から3分
羽前小松駅までは、
米沢駅からJR米坂線で20分



観光・宿泊のお問合せ 川西町商工観光課 ☎0238-42-2111
〒999-01 東置賜郡川西町大字上小松1567

交通のお問合せ 川西町企画課 ☎0238-42-2111
〒999-01 東置賜郡川西町大字上小松1567

コースのお問合せ 川西町企画課 ☎0238-42-2111
〒999-01 東置賜郡川西町大字上小松1567

山形県環境保護課 ☎0236-30-2206
〒990-70 山形市松波2-8-1

表紙の写真はダリア園

GUIDE

みどころ案内

長堀堰

Nagahori-seki

江戸時代の初め、川西町の西部地区は、灌漑用の水を十分に得ることができず、たびたび干ばつに苦しんでいました。

そこで、地元の住民島貫源兵衛が遠く白川から水を引くための堰を作る計画を立てて、源兵衛が中心になり寛永二年（1625）から工事を始めました。しかし、工事は困難を極め地元の住民はあきらめていましたが、源兵衛らの努力で20年後の寛永二十一年（1644）に12,000mにも及ぶ堰が完成しました。

この長堀堰は、現在も利用されており、約1000haもの水田を潤す県内でも有数の規模をほこる堰です。

下小松古墳群

Shimokomatu-kofun

下小松古墳群は、東日本有数の古墳群で169基の古墳があります。業師沢支群、鷹待場支群、小森山支群の三支群に分けられています。古墳の中には埋葬主体が確認され、副葬品として銅鏡、鉄剣、刀子などが出土されたものがあり、それらは川西町埋蔵文化財資料展示館に展示されています。

築造年代は、4世紀末から6世紀末までのものと考えられているが、不明な点も多く現在も調査を継続しています。

周辺には、チョウセンアカシジミ（県指定天然記念物）や日本国内のトンボでは最小種のハッチョウトンボが棲息しています。



眺山

Nagameyama

明治初期、イギリスの女性旅行家イザベラ・バードが、米沢盆地を“東洋のアルカディア”と称しています。そのとき、彼女が立っていたのが、眺山と言われています。今もこの自然、風景・風土は残され、美田に集落が散在する散居形態が眼下に広がっています。



県立総合コロー「希望が丘」を出発すると、やがて下小松古墳群のある丘へと至ります。そこから見える風景は、東洋のアルカディア（桃源郷）と称された米沢盆地が眼下に広がります。下小松古墳群は、4世紀から6世紀にかけて造られ、東日本では有数の古墳群で169基の古墳が散在する古代ローマンの丘です。周辺にはチョウセンアカシジミ（県指定天然記念物）や日本国内のトンボでは最小種のハッチョウトンボが棲息しています。参道の杉並木が見事な諏訪神社を過ぎると、日本一の華麗さと種類を誇る川西ダリア園があります。面積100アール、種類650種、18,000株を有し、川西町のシンボルとなっています。そこから更に行くといくつかの町民駅、JR羽前小松駅へと至ります。この「眺山とダリア園を巡る道」は、はるか古代のローマンに満ちた遺跡や、深い緑に満ちた美しい風景とふれあうことのできるみちです。

諏訪神社

Suwa-jinja

諏訪の神は元来狩猟や農業生産の神として尊崇されていましたが、山形県内では、開拓の神として崇敬されていたと考えられています。

この神社の沿革は古記録がなくわかりませんが、暦仁元年（1238）この地域を領土にしていた長井氏が支社殿を造営し、その後は、伊達氏や上杉氏からも信仰されていました。



浴浴センター「まどか」

Yokuyoku-senta-madoka

浴浴センターは、宿泊可能な公共の温泉保養施設。愛称は「まどか」。宿泊は53名定員で、6名定員の和洋室4室、5名定員の和室5室のほか、公共施設としては珍しいシングル（洋室）4室を持ち、団体、家族連れはもちろん一人でも気軽に利用できます。

現在、新ダリア園を整備中（平成11年オープン）で、完成後は施設の窓からダリアの花園が広がります。

◆宿泊料
1泊2食で7,000円、8,000円、9,000円の3タイプ（税別）。
温泉利用のみ/人300円。



川西ダリア園

kawanishi-daria-en

川西ダリア園は、川西町のシンボル。650種、18,000株のダリアが咲き競う。ダリアの見ごろは8月から10月。期間中はダリアまつりとして奉讃獅子祭や東北名花展、地酒と黒べこまつりなど盛り沢山のイベントが開催されます。

◆開演期間 8/1～10/30
◆入園料 大人520円/子供210円
◆開演時間 AM 9:00～PM 6:00

町民駅・羽前小松駅

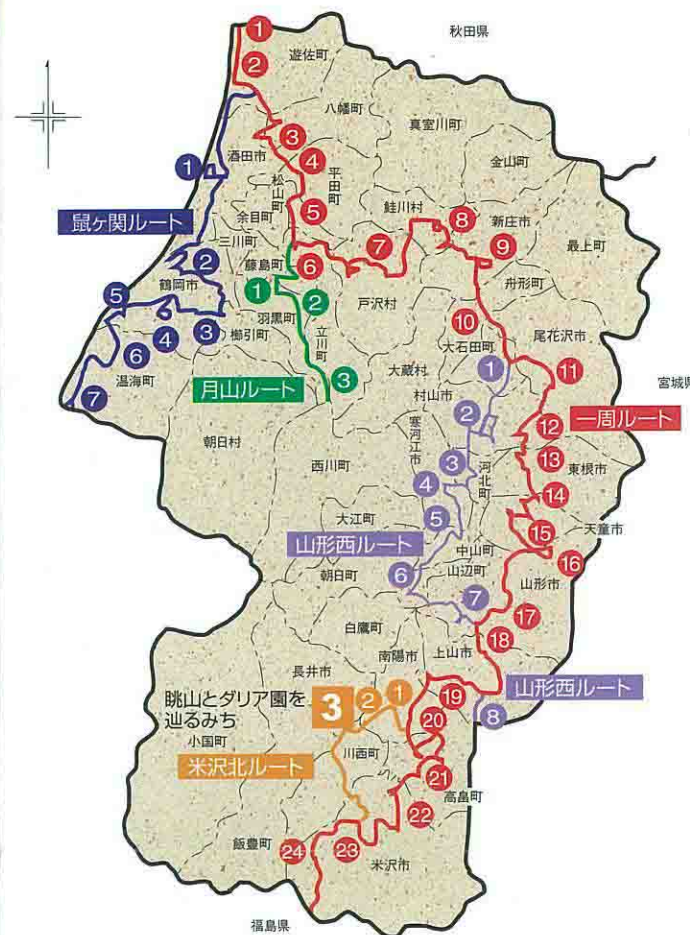
Chomin-eki-Uzenkomatu-eki

JR米坂線・羽前小松駅は、川西町の表玄関。JRの無人駅化計画を受け、昭和57年に全国で初めて町が管理する町民駅として再スタートしました。



YAMAGATA MAP

東北自然歩道（新・奥の細道）ルート図



“新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特徴ある文化や歴史と親しむためのみちです。“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469Kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために
1.コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
2.歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
3.天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発！

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元元融資を受けてつくられました。